

平成21年度 岡山県高教研学校図書館部会司書部会第1回合同研修会  
キャリア研修

日時：平成21年4月28日（火） 13:00～14:30

会場：岡山県立朝日高等学校

参加人数：

司会進行：加藤省子（倉敷天城）

記録：川上倫代（県立玉島）

1、「キャリア研修」という名称について

- ・「初任研」に対する研修会の名称としてふさわしいか。  
→ 定着した感もあり、この名称で決定する。

2、基本情報アンケートについて

目的・扱いについて協議し、再確認・共通認識を持つ。

（経緯）（玉島・川上）

6年ほど前に、備前支部の研修の一環として始まったもの。

その後、合同研修会が開催されるようになった際に、3支部まとめたものを作成することになった。

項目については、「司書が実際の業務を行っていくうえで知りたいもの」を厳選した。

記入については強制ではなく、外部に出すことを目的としたものでもなかった。

（意見）

- ・外部に出すのであれば、記入をためらう項目があったり、起案が必要になる学校が出てくるのではないか。
- ・外部に、特定の項目の集計結果のデータだけを加工されると、不都合が起こるのではないか。
- ・高校図書館（および司書）の活動は、外部からは見えにくいものである。このアンケートは、外部に対して活動をアピールするために活用するとよいのではないか（第1回目のアンケートは、指導課に持参している）。

（まとめ）

- ・「外部に出ることもあること」をアンケート表紙に明記したうえで、各校の判断で、記入できる項目を記入する。
- ・記入しづらいからといって項目を減らすとアンケートの実効性がなくなる。項目自体は減らさないようにする。ただし、実情に合わせて毎年の見直しはしたい（例：システムの欄に、MARC種別を盛り込む、等）。
- ・配布先、配布方法については、参加校も欠席校ももらえるようにする（司書が見配置で参加できない学校こそ、このアンケートを必要としているであろう）。
- ・外部に持参することは今回見送るが、別の活動アピールの方法を考える必要がある。
- ・以上のことを、毎年第5回の司書部会できちんと確認し、翌年の基本アンケートを各校混乱なく持参できるようにする。

### 3、ネットワーク研究会からの報告（水工・東根）

- ・平成20年度の活動報告
- ・緊急雇用に関連する蔵書DB化推進事業について
- ・ネットワーク研究会への参加募集
  - 会員校が少なく、必要なときに動ける学校（司書）が足りない。司書の仕事量の偏りがある。電話相談の窓口のみの活動でも良いので、ぜひ参加して欲しい。
  - 司書部会と別立ての研究会であるのは、司書未配置校等、先生の参加も募っているため。参加申込みは、5月15日（金）締切りで、水工・東根さんまで。
- ・県立図書館からの依頼
  - 高等学校支援用図書の整備のため、学校司書から選定委員2名を選出すること（支部は問わず）。
  - 福森（理大附）、川上（県立玉島）

### 4、今後の研修について（岡工・大園）

- ・今後の研修について、備前での研修から見えてきたもの
  - 昨年度2月の「調べ学習」に関する発表で、教員の反応が予想外に良かった。「調べ学習」が、学校図書館の機能として、やはり大変重要になっている。
  - 「調べ学習」、「授業との連携」について、司書部会とは別立ての研究会（教員の参加が不可欠なため）を立ち上げて、継続して研究を続けていく必要があるのでは。
  - まずは各支部共通のテーマで研究し、合同研修会のときに成果を発表するようにしては（備中は、現在のグループテーマを、授業と絡めたものにして進めることで可能）。
  - 各支部で、研修の窓口（ワークシートなどをHPに載せ、他支部でも活用できるようにする等の作業を担当する）となる司書の候補を、12月の合同研修会までに決めておく。